

浸水被害低減効果一覧

令和8年9月6日～9月7日 レベル3大雨警報（浸水害）

下水道施設名	行政区	排水方式	施設容量 (m³)	貯留量 (m³)	貯留率 (%)
① 新羽末広幹線	港北、鶴見	ポンプ排水	410,000	33,792	8%
② 小机千若雨水幹線	緑、神奈川	ポンプ排水	256,000	334,007	100%
③ 新羽調整池	港北	ポンプ排水	89,000	4,000	4%
⑤ 星川雨水調整池	保土ケ谷	ポンプ排水	41,700	6,348	15%
⑥ 飯島雨水調整池	栄	ポンプ排水	15,600	7,567	49%
⑦ 蒔田雨水調整池	南		22,000	3,460	16%
⑧ 江川雨水調整池	都筑		17,000	8,590	51%
⑨ たちばなの丘雨水調整池	旭		7,000	3,700	53%
⑩ 金井雨水調整池	栄		6,000	1,930	32%
⑪ 長津田地区東雨水調整池	緑		54,000	8,120	15%
⑫ 長津田地区西雨水調整池	緑		19,000	1,490	8%
⑬ 相沢雨水調整池	瀬谷		56,000	20,710	37%
⑭ 北綱島第二雨水幹線	港北		72,000	12,670	18%
⑯ 戸部雨水幹線	西		11,000	7,880	72%
⑰ 万世雨水幹線	中、南		21,000	20,250	96%
⑱ 大岡川右岸雨水幹線	南		18,000	150	1%
⑳ 初音雨水幹線	南		7,500	2,110	28%
㉑ 初音雨水支線	南		2,700	1,300	48%
㉒ 東希望ヶ丘雨水幹線	旭		40,000	220	1%
㉓ 南希望ヶ丘雨水幹線	旭		8,000	70	1%
㉔ 二俣川1号雨水幹線	旭		13,000	90	1%
合 計			—	478,454	—

河川施設名	行政区	排水方式	施設容量 (m³)	貯留量 (m³)	貯留率 (%)
① 鳥山川遊水地	神奈川	ポンプ排水	44,000	963	2%
③ 今井川地下調節池	保土ケ谷	ポンプ排水	178,000	14,524	8%
④ 舞岡川遊水地	戸塚	ポンプ排水	55,200	30,673	56%
⑤ 宇田川遊水地	戸塚	ポンプ排水	65,000	7,630	12%
⑦ 宮沢遊水地	瀬谷		48,650	2,750	6%
⑧ 平戸永谷川遊水地	港南		37,900	22,355	59%
⑨ 名瀬川遊水地	戸塚		29,400	2,658	9%
⑩ 阿久和川遊水地	瀬谷		27,900	9,130	33%
合 計			—	90,683	—

総 計			—	569,137	—
-----	--	--	---	---------	---

25mプールで換算： **1,518** 杯分を貯留

※25mプール容量イメージ：幅15m×深さ1m×長さ25m=375m³

- 1 ポンプ排水方式の下水道施設については、最下流のポンプ施設による吐出量を集計した値を記載しています。
また、ポンプ排水を行いながら貯留しているため、貯留容量を超える値になる場合があります。
ポンプ排水方式の河川施設については、対象期間内に排水作業を実施し、複数回貯留した場合は、行を分けて記載します。
- 2 その他の排水方式については、ピーク水位の計測結果から算出した貯留量を記載しています。
※上記1、2の算出方法による値のため、浸水被害低減量は参考値です。
- 3 貯留実績があった施設のみ貯留量を記載しています。